

文章を正しく読み取り、自分の考えを深めよう
〈広報誌〉

組 番 氏名

ひなたさんが学校から帰宅すると、郵便受けに市の広報誌が入っていました。何気なくページをめくっていくうち、ふと、ある記事が目にとまりました。

ニ―ハオ！ 都城の皆さん
都城の皆さん、はじめまして。中国の重慶市ちゅうけいしから参りました〇〇と申します。四月から、都城で国際交流員として仕事をすることになりました。非常に貴重な機会を得て、とてもありがたく感じています。

私は大学三年生の時、大学生訪日団に参加し、十日間日本に滞在したことがあります。短期間でしたが、印象深く、将来、日本で仕事をしてみたいと思いました。大学では、四年間、日本語を勉強しましたが、日本に関する知識は、本や資料で学ぶだけでした。これから、都城の人たちとたくさん交流し、これまで学んだ日本語を活用して、私の故郷、重慶市を含めて中国のことを伝えたいと思っています。

重慶市役所で日本との交流業務を担当していた時、「草の根レベルの交流」という言葉をよく耳にしました。中国と日本の相互理解を深めるために、微力ながら貢献したいと思っています。これから一年間の交流活動が楽しみです。都城の皆さん、よろしくお願います。

【広報 都城 No. 一四】

ひなたさんは、「草の根レベルの交流」という言葉がよく分からなかったので、国語辞典を開いてみました。すると、次のように記してありました。

【資料1】

くさのね 【草の根】①隠れて見えない草の根元 ②民衆ひとりひとり

〈解答のポイント〉

○ 個人的な立場で取り組んでいきたいという意味が入っていれば正解です。

ひなたさんは、「来日した国際交流員は、『草の根レベルの交流』をがんばりたいと考えているのだ」と思いました。ここでいう、「草の根レベルの交流」とは、どういう意味だとあなた自身は考えますか。【資料1】も参考にし、説明しなさい。

国として行う取組としてではなく
一人の外国人（人間）として都城
（日本）の人々と交流していき
たいという意味。



【広報 都城 No. 一四】

その日の夕食での、お母さん、ひなたさん、妹のあかりさんの会話です。

ひなたさん　お母さん、今日書いた都城市の広報誌、もう見た？

〈解答例〉

- 以前から／みんなで／取りかかって／いた／体育大会の／ポスターは／上々の／仕上げりだ。(八文節)
- 今度の／映画は／上々の／反応だ。(四文節)
- 心配して／いた／雨も／あがり、／気分は／上々だ。(六文節)

〈解答のポイント〉

- 「首尾は上々」「上々のコンディション」という語句を使用しても正解です。
- 「四文節以上」という条件について、確実に把握しておきましょう。

んじゃないの？

- (二) 「上々」という語句を用いて文を作成しなさい。その際、四文節以上の一文で作成すること。

以前からみんなを取りかかっていた体育大会のポスターは、上々の仕上げりだ。

- (三) 「見る」と「読む」の使い方について、母親の意見に対して、あなた自身はどう考えますか。次の条件を全て踏まえ答えなさい。

〈解答のポイント〉

- 条件を踏まえていれば、どちらの立場でも正解です。ただし、文末に、「だから」といった理由を示す表現がないものについては、誤答とします。
- 資料2の活用がないものについては誤答とします。

〈別解答例〉

- 読むという使い方が正しい。なぜなら、「見る」には情報を理解するという意味が含まれず、広報誌の情報を正しく理解することにはならないからだ。

どちらでもよい。(正しい。)(どちらを使ってもよい。)(なぜ

なら、「見る」には「書類などの全体をざっと見る」という意味

があるからだ。